



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4082

URL <https://www.dkkk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 剛

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 松本 克己

(TEL) 06-6206-3311

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,802	0.8	1,805	△19.5	1,703	△26.9	1,152	△27.7
2019年3月期第2四半期	13,697	14.3	2,243	2.1	2,329	9.1	1,594	9.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,074百万円(△30.3%) 2019年3月期第2四半期 1,541百万円(1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	47.58	—
2019年3月期第2四半期	65.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	49,175	28,150	57.1
2019年3月期	45,768	27,265	59.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 28,095百万円 2019年3月期 27,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	9.00	19.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	1.1	3,600	△14.7	3,500	△18.8	2,400	△22.4	99.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	24,400,000株	2019年3月期	24,400,000株
2020年3月期2Q	155,843株	2019年3月期	188,407株
2020年3月期2Q	24,220,926株	2019年3月期2Q	24,176,108株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における世界経済は、米中貿易摩擦の激化が景気減速の懸念材料となり、製造業を中心に企業マインドの低下により設備投資は弱含みや一部で先送りの動きが見られるなど、先行きに対する不透明感が強くなっております。

当社グループの主要顧客であります自動車業界におきましては、ライトビークル市場(乗用車・小型商用車)において、中国の新車販売台数減少の影響を大きく受けて世界自動車販売台数は前年割れの状況にあり、長期化する米中貿易摩擦と経済の減速が、引き続き自動車市場にとってのリスクとして残っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、販売数量は前年同期比で3.3%減少したものの、販売製品構成による収益差や平均単価が上昇したこと等により13,802百万円(前年同期比0.8%増、期首予算29,000百万円に対して進捗率47.6%)、営業利益は、販売数量減による影響や販売費及び一般管理費の増加等により1,805百万円(前年同期比19.5%減、期首予算4,000百万円に対して進捗率45.1%)、経常利益はさらに為替の影響等が加わり1,703百万円(前年同期比26.9%減、期首予算4,000百万円に対して進捗率42.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,152百万円(前年同期比27.7%減、期首予算2,800百万円に対して進捗率41.2%)となりました。

(注) 進捗率は、修正前の連結業績予想と比較しております。

用途別の販売状況は、次のとおりであります。

(触媒)

当社グループの主力製品である自動車排ガス浄化触媒用途向け製品は、近年は環境規制強化の影響を受け高機能を有した当社グループ製品への需要が増加し、自動車販売動向を上回る販売で推移してまいりましたが、世界最大の自動車市場となった中国の販売不振の影響等により世界自動車販売が減少していることに加え、顧客での在庫調整もあり、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

これらの結果、触媒用途向け製品の当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,165百万円(前年同期比6.7%減、期首予算17,437百万円に対して進捗率46.8%)となりました。

(ファインセラミックス)

高機能材料向け製品は、キッチンセラミックスなどの民生用セラミックス用途の製品において販売が減少しましたが、欧州を中心に展開している歯科材料用途の製品が復調傾向にあります。また、国内向けの産業構造材用途等が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。また、当社グループの次世代の主力製品と期待しております燃料電池用途向け製品は、計画は下回ったものの、堅調な販売が継続しています。

これらの結果、ファインセラミックス用途向け製品の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,695百万円(前年同期比35.4%増、期首予算3,409百万円に対して進捗率49.7%)となりました。

(電子材料・酸素センサー)

電子材料用途向け製品は、中国経済減速の影響から、半導体需要の減少や、スマートフォン販売の低迷等による業界全体の生産調整を受けて、圧電素子やセラミックコンデンサ向けは売上高が減少いたしました。一方で、二次電池材料向け製品は、主要顧客において車載、定置用向け需要が増加していることから、売上高は増加いたしました。また、酸素センサー用途向け製品は、主要顧客向けが底堅く推移いたしました。

これらの結果、電子材料・酸素センサー用途向け製品の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,568百万円(前年同期比29.3%増、期首予算2,936百万円に対して進捗率53.4%)となりました。

(耐火物・ブレーキ材)

耐火物用途向け製品は、販売数量が減少したものの販売単価が上昇したことにより売上高は増加いたしました。ブレーキ材用途向け製品は、販売数量は堅調であるものの販売単価が低下した等の影響を受け、売上高は減少いたしました。

これらの結果、耐火物・ブレーキ材用途向け製品の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,444百万円(前年同期比0.2%減、期首予算3,153百万円に対して進捗率45.8%)となりました。

(その他)

アルミニウム配管のろう付に使用されるセシウムフラックスは、自動車向け製品が自動車販売市場悪化の影響で伸び悩み、売上高は前年同期比で減少いたしました。液物製品等の販売は堅調に推移しましたが、一部顧客の在庫調整の影響等を受けて、その他用途向け製品の売上高は、前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、その他用途向け製品の当第2四半期連結累計期間の売上高は、928百万円（前年同期比9.8%減、期首予算2,063百万円に対して進捗率45.0%）となりました。

(注) 進捗率は、修正前の連結業績予想と比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は49,175百万円で、前連結会計年度末に比べ3,406百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物の増加(2,033百万円)、現金及び預金の増加(1,361百万円)、製品の増加(398百万円)、仕掛品の減少(476百万円)によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は21,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,521百万円増加しました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の増加(3,939百万円)、流動負債その他の減少(836百万円)、支払手形及び買掛金の減少(522百万円)、未払法人税等の減少(90百万円)によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は28,150百万円で、前連結会計年度末に比べ885百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加(934百万円)によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末59.5%から57.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが2,140百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが3,990百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが3,721百万円の収入となり、これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、前連結会計年度末に比べ1,861百万円増加し、9,377百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は2,140百万円(前年同四半期は737百万円の収入)となりました。

主な収入は、税金等調整前四半期純利益1,698百万円、減価償却費1,070百万円、たな卸資産の減少458百万円によるものであります。

一方、主な支出は、仕入債務の減少696百万円、法人税等の支払額649百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は3,990百万円(前年同四半期は1,975百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,712百万円、無形固定資産の取得による支出121百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、得られた資金は3,721百万円(前年同四半期は3,605百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入5,000百万円、長期借入金の返済による支出1,060百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2019年5月13日に公表いたしました「2019年3月期決算短信[日本基準](連結)」に記載の業績予想を次のとおり修正いたします。

2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,000	4,000	4,000	2,800	115.65
今回発表予想(B)	27,800	3,600	3,500	2,400	99.09
増減額(B-A)	△1,200	△400	△500	△400	
増減率(%)	△4.1	△10.0	△12.5	△14.3	

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,215,588	8,577,036
受取手形及び売掛金	5,197,166	5,375,484
有価証券	300,000	800,000
製品	4,209,383	4,608,336
仕掛品	2,740,381	2,263,792
原材料及び貯蔵品	4,143,308	3,758,262
その他	2,297,267	1,854,038
流動資産合計	26,103,095	27,236,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,206,375	5,240,053
機械装置及び運搬具(純額)	5,027,910	4,755,794
土地	1,752,062	1,752,062
建設仮勘定	3,285,828	3,669,458
その他(純額)	602,305	565,010
有形固定資産合計	13,874,482	15,982,380
無形固定資産	355,068	1,135,810
投資その他の資産	5,436,238	4,820,363
固定資産合計	19,665,790	21,938,554
資産合計	45,768,886	49,175,505
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,479,399	957,346
短期借入金	1,200,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,198,117	2,946,621
未払法人税等	692,844	601,902
賞与引当金	265,955	296,015
その他	3,492,699	2,655,827
流動負債合計	9,329,015	8,657,713
固定負債		
長期借入金	9,050,837	12,241,405
退職給付に係る負債	1,051	1,112
その他	122,767	124,649
固定負債合計	9,174,656	12,367,167
負債合計	18,503,672	21,024,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,104,864	1,121,672
利益剰余金	25,114,615	26,049,105
自己株式	△70,089	△57,901
株主資本合計	26,936,490	27,899,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,561	181,148
為替換算調整勘定	109,882	38,517
退職給付に係る調整累計額	△24,730	△23,845
その他の包括利益累計額合計	274,713	195,820
非支配株主持分	54,010	54,827
純資産合計	27,265,214	28,150,624
負債純資産合計	45,768,886	49,175,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,697,773	13,802,319
売上原価	9,457,854	9,815,750
売上総利益	4,239,919	3,986,569
販売費及び一般管理費	1,996,023	2,180,879
営業利益	2,243,895	1,805,689
営業外収益		
受取利息	20,085	35,133
受取配当金	9,136	13,550
為替差益	84,899	—
助成金収入	10,337	4,386
その他	27,051	57,145
営業外収益合計	151,509	110,215
営業外費用		
支払利息	5,012	18,858
為替差損	—	172,110
持分法による投資損失	41,000	19,580
支払手数料	16,500	—
その他	3,465	1,868
営業外費用合計	65,978	212,418
経常利益	2,329,427	1,703,487
特別損失		
災害による損失	26,840	—
固定資産除却損	38,951	5,275
特別損失合計	65,791	5,275
税金等調整前四半期純利益	2,263,635	1,698,211
法人税、住民税及び事業税	694,856	561,830
法人税等調整額	△26,175	△18,479
法人税等合計	668,681	543,351
四半期純利益	1,594,954	1,154,859
非支配株主に帰属する四半期純利益	856	2,465
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,594,097	1,152,394

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,594,954	1,154,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,304	△8,412
為替換算調整勘定	△88,385	△73,012
退職給付に係る調整額	5,889	884
持分法適用会社に対する持分相当額	△587	0
その他の包括利益合計	△53,778	△80,540
四半期包括利益	1,541,175	1,074,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,542,386	1,073,501
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,210	816

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,263,635	1,698,211
減価償却費	1,024,121	1,070,071
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,586	30,066
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△17,767	△18,087
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	67	96
受取利息及び受取配当金	△29,221	△48,683
支払利息	5,012	18,858
為替差損益(△は益)	△23,184	54,246
持分法による投資損益(△は益)	41,000	19,580
売上債権の増減額(△は増加)	361,538	△131,945
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,702,541	458,637
未払又は未収消費税等の増減額	127,985	253,969
仕入債務の増減額(△は減少)	△274,390	△696,819
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	126,817	△316,017
その他	△641,420	368,684
小計	1,216,064	2,760,868
利息及び配当金の受取額	29,200	48,622
利息の支払額	△4,199	△19,568
法人税等の支払額	△503,899	△649,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	737,166	2,140,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,845,301	△3,712,346
無形固定資産の取得による支出	△42,176	△121,280
長期前払費用の取得による支出	△33,396	△14,169
投資有価証券の取得による支出	△4,733	△4,900
貸付けによる支出	△1,000	△40,900
貸付金の回収による収入	5,508	755
子会社株式の取得による支出	△34,498	△109,360
その他	△19,469	11,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,975,068	△3,990,686
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	—
長期借入れによる収入	4,000,000	5,000,000
長期借入金の返済による支出	△800,987	△1,060,585
配当金の支払額	△193,412	△217,660
自己株式の取得による支出	△32	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,605,568	3,721,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,238	△10,323
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,372,904	1,861,447
現金及び現金同等物の期首残高	5,372,725	7,515,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,745,630	9,377,036

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当該会計基準の適用の結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、無形固定資産が729,806千円増加し、投資その他の資産が729,806千円減少しております。